

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/03/01

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.90	-0.09
JPY/THB	0.2393	0.0006
USD/JPY	149.98	-0.71
EUR/THB	38.79	-0.21
EUR/USD	1.0805	-0.0033
USD/CNH	7.208	-0.006
SGD/THB	26.68	-0.04
AUD/THB	23.33	-0.05
USD/INR	82.91	-0.02
USD Index	104.16	0.18

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.260	0.010
10Y (THB)	2.564	0.004
5Y (USD)	4.245	-0.016
10Y (USD)	4.250	-0.014

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,054.7	12
WTI (Oil)	78.26	-0.28
Copper	8,493.5	45.0

Stock

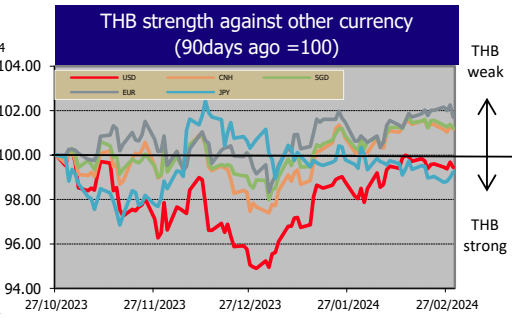
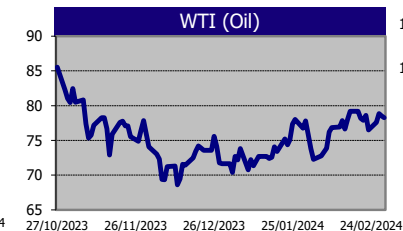
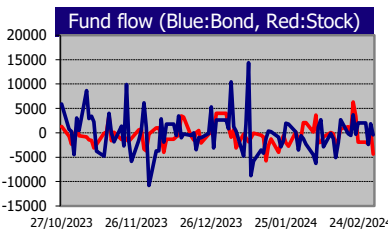
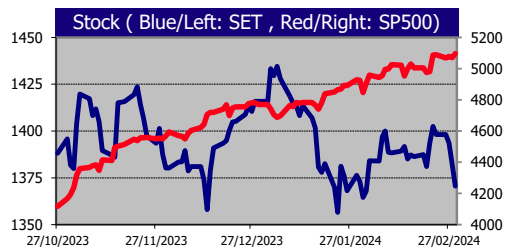
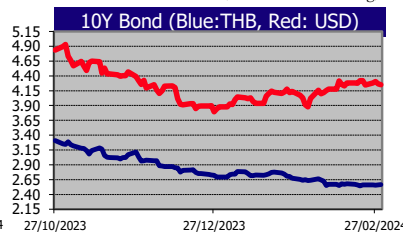
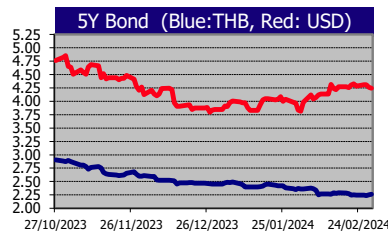
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,370.67	-11.38
NIKKEI (JP)	39,166.19	-41.84
DOW (US)	38,996.39	47.37
S&P500 (US)	5,096.27	26.51
SHCOMP (CN)	3,015.17	57.32
DAX(GER)	17,678.19	76.97

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(4,337)	-5079.5
Bond net flow	(403)	-2239.8

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅下落。36パーツちょうど付近で取引を開始。幅広い通貨に対しドルがやや弱含む中でドルパーツも下落。バンコク時間午後発表された同国1月経常収支の赤字幅が市場予想対比抑えられていたこともあってか、パーツがアジア通貨を牽引する格好で一時的に35パーツ後半まで下落した。海外時間入りにかけて水準を戻すも、米国新規失業保険申請件数、継続受給者数が予想対比悪化したことや、セタブット・タイ中銀総裁へのインタビューにて「政策金利の引き下げは同国経済の構造的な問題の解決にはならない」という従来の主張が改めて示されたほか、「政策金利に関する緊急会合の開催は計画していない」、「セター・タイ首相との面談は予定されていない」旨の発言が確認されたことも相俟って、ドルパーツは再び35パーツ後半まで下落。終盤にかけては米1月コアPCEデフレーターが前回から上昇していることが材料視される中で値を戻し、35.90レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。150円台半ば付近の水準で取引を開始すると、高田日銀審議員が講演にて、日本の物価目標の実現について「ようやく見通せるようになってきた」との発言が確認され、タカ派的と捉えられると円買いが強まり、ドル円は一時149円台半ばまで下落。海外時間入りにかけて150円ちょうど付近まで戻すも、米国労働関連指標を中心とした米国経済指標の弱い結果に149円台前半まで再度下落。終盤にかけては米1月コアPCEデフレーターの前月からの上昇やFed高官のタカ派的な発言を材料に150円ちょうど付近まで戻し、そのまま149.98レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日は米国時間に米1月個人消費支出(PCE)デフレーターが発表された。FRBが基調的なインフレを判断する上で重視するコア指数は前月比、前年比ともに市場予想通りではあったものの、前月比はここ1年近くで最大の伸び(+0.4%)を記録しており、引き続き米国のインフレが高止まりしそうなことを市場に印象付けた。最近の米物価指標は予想比強めに出る傾向があったことから、予想通りとなった今回は公表後一部でドル売りの反応も観測されたものの、その後すぐにドルは水準を戻している。市場の年内米利下げ織り込み度合いが、すでにFOMCのドットチャートと一致しつつある今の局面は、米経済データ発表後の米金利やドルへの反応は限定的、ということが確認されたようにも見える。昨日のアジア時間では高田日銀審議員が2%の物価目標実現について「見通せる状況になってきた」と発言し円高が進行、今朝方は植田日銀総裁が同様の問いに対し「見通せる状況に至っていない」と発言し円がじり安となるなど足許のドル円は本邦発の材料のほうが方向感が出やすい地合いとなっている。引き続き日銀の動向や日経平均株価の動き等に注目していきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.